BlackBerry UEM

ユーザーとグループを管理するs

管理

12.12

目次

ユーザーおよびグループ.....5

ユーザーアカウントの作成と管理.....6
ユーザーアカウントの作成.....6
.csv ファイルからのユーザーアカウントの作成.....9
.csv ファイルを使用したユーザーアカウントの作成.....10
BlackBerry UEM でのユーザーアカウント .csv ファイルの検証方法.....11
ユーザーアカウントの表示.....12
ユーザーアカウントへのメモの追加.....12
複数のユーザーアカウントの同時管理.....12
ユーザーへのメールの送信.....13
複数のユーザーへの BlackBerry UEM Self-Service パスワードの送信.....14
ユーザーアカウント情報の編集.....14
ディレクトリユーザーの情報の同期.....14
ユーザーからのサービスの削除.....15
ユーザーのサービスの有効化.....15
ユーザーアカウントの削除.....16
ユーザーグループへのユーザーの追加.....16
ユーザーグループからのユーザーの削除.....17
ユーザーの所属先ユーザーグループの変更.....17
ユーザーアカウントへのプロファイルまたは IT ポリシーの割り当て.....17
ユーザーアカウントへのアプリの割り当て.....18
ユーザーアカウントへのアプリグループの割り当て.....19

ユーザーグループの作成と管理.....21
ディレクトリにリンクされたグループの作成.....21
ディレクトリにリンクされたグループの作成.....22
会社のディレクトリグループの既存のディレクトリにリンクされたグループへの追加.....23
ローカルグループの作成.....23
ユーザーグループの表示.....24
ユーザーグループの名前の変更.....24
ユーザーグループを削除する.....24
ユーザーグループへのネストされたグループの追加.....25
ユーザーグループからのネストされたグループの削除.....25
ユーザーグループへのプロファイルまたは IT ポリシーの割り当て.....25
ユーザーグループへのアプリの割り当て.....25
ユーザーグループへのアプリグループの割り当て.....26

デバイスグループの作成.....29
デバイスグループの作成.....29

デバイスグループの編集 30
デバイスグループのパラメーターの定義..... 31
デバイスグループの表示..... 32
デバイスグループの名前の変更..... 32
デバイスグループの削除..... 32

共有デバイスグループの作成と管理..... 33
共有デバイスグループの作成..... 33
共有デバイスのアクティベーション..... 33
ユーザーのチェックアウト履歴の表示..... 34
共有デバイスグループのユーザーメンバーシップの編集..... 34
共有デバイスグループからのデバイスの削除..... 35
共有デバイスグループの削除..... 35
共有デバイスグループへの IT ポリシーまたはプロファイルの割り当て..... 35
共有デバイスグループへのアプリの割り当て..... 36

公開デバイスグループの作成と管理..... 38
公開デバイスグループの作成..... 38
公開デバイスのアクティベーション..... 38
公開デバイスグループからのデバイスの削除..... 38
公開デバイスグループの削除..... 39
公開デバイスグループへの IT ポリシーまたはプロファイルの割り当て..... 39
公開デバイスグループへのアプリの割り当て..... 39

BlackBerry UEM Self-Service のユーザーロールの管理..... 41
BlackBerry UEM Self-Service 機能..... 41
ユーザーロールの作成..... 42
ユーザーロールのランク付け..... 42
ユーザーへのユーザーロールの割り当て..... 43
グループへのユーザーロールの割り当て..... 43

ユーザーリストの表示およびカスタマイズ..... 44
デフォルトビューまたは詳細ビューの設定..... 44
ユーザーリストに表示する情報の選択..... 44
ユーザーリストのフィルター..... 44
ユーザーリストの並べ替え..... 45
ユーザーリストの .csv ファイルへのエクスポート 45
デバイスの所有権ラベルの変更..... 45

商標などに関する情報..... 47

ユーザーおよびグループ

ユーザーアカウントを作成してから、ユーザーグループを作成して、ユーザーの効果的な管理をしやすくすることができます。BlackBerry UEM 管理コンソールは、デバイス管理のためのユーザーと、次の製品を含むその他の BlackBerry エンタープライズ製品のユーザーを管理します。

- BlackBerry 2FA
- BlackBerry Enterprise Identity
- BlackBerry Workspaces
- BBM Enterprise
- BlackBerry Org Connect

ユーザーアカウントの作成と管理

ユーザーアカウントを直接 BlackBerry UEM に追加することができます。また、BlackBerry UEM を会社のディレクトリに接続している場合は、そのディレクトリからユーザーアカウントを追加できます。BlackBerry UEM を会社のディレクトリに接続して、ディレクトリにリンクされたグループを有効にする方法の詳細については、「オンプレミスの設定関連の資料」または「ククラウドの設定関連の資料」を参照してください。

また、.csv ファイルを使用して、複数のユーザーアカウントを同時に BlackBerry UEM へ追加することもできます。

ユーザーアカウントの作成

作業を始める前に：

- ディレクトリユーザーを追加する場合は、BlackBerry UEM が会社のディレクトリに接続されていることを確認します。BlackBerry UEM を会社のディレクトリに接続して、ディレクトリにリンクされたグループを有効にする方法の詳細については、「オンプレミスの設定関連の資料」または「ククラウドの設定関連の資料」を参照してください。
- ユーザーのために BlackBerry Workspaces サービスを有効にする場合、Workspaces plug-in for BlackBerry UEM が環境内の BlackBerry UEM の各インスタンスにインストールされていることを確認します。Workspaces サービスのインストールの詳細については、Workspaces のアカウント担当者にお問い合わせください。

1. メニューバーで、［ユーザー］ > ［管理されているデバイス］をクリックします。
2. ［ユーザーを追加］をクリックします。
3. 次のタスクのいずれかを実行します。

タスク	手順
ディレクトリユーザーを追加する	**a.** ［会社のディレクトリ］タブの検索フィールドに、追加するディレクトリユーザーの検索条件を指定します。姓、名、表示名、ユーザー名、またはメールアドレスで検索できます。 **b.** 検索結果で、ユーザーアカウントを選択します。
ローカルユーザーを追加する	**a.** オンプレミス環境で、［ローカル］タブをクリックします。クラウド環境で、［非ディレクトリ］タブをクリックします。 **b.** ユーザーアカウントの［姓］と［名］を入力します。 **c.** ［表示名］フィールドで、必要に応じて変更します。表示名は、指定した姓と名で自動的に設定されます。 **d.** ［ユーザー名］フィールドに、ユーザーアカウント固有のユーザー名を入力します。 **e.** ［メールアドレス］フィールドに、ユーザーアカウントの連絡先メールアドレスを入力します。ユーザーアカウントのメールアドレスは、Workspaces またはデバイス管理などのサービスを有効にする場合に必要です。 **f.** オプションで［その他のユーザー詳細］をクリックして、必要に応じてこのフィールドに入力します。

タスク	手順
BlackBerry Online Account ユーザーを追加する （このオプションはクラウド環境でのみ使用可能です。）	**a.** ［非ディレクトリ］タブをクリックします。 **b.** ユーザーアカウントの［姓］と［名］を入力します。 **c.** ［表示名］フィールドで、必要に応じて変更します。表示名は、指定した姓と名で自動的に設定されます。 **d.** ［メールアドレス］フィールドに、ユーザーアカウントの連絡先メールアドレスを入力します。ユーザーアカウントのメールアドレスは、Workspaces またはデバイス管理などのサービスを有効にする場合に必要です。 **e.** オプションで［その他のユーザー詳細］をクリックして、必要に応じてこのフィールドに入力します。

4. ローカルグループが BlackBerry UEM に存在し、ユーザーアカウントをグループに追加する場合は、［利用可能なグループ］リストで、1 つ以上のグループを選択し、➡ をクリックします。

ユーザーアカウントを作成する場合は、BlackBerry UEM のローカルグループのみに追加できます。ユーザーアカウントがディレクトリにリンクされたグループのメンバーである場合は、BlackBerry UEM と会社のディレクトリとの同期が実行されたときに、自動的にそのグループに関連付けられます。

管理ロールが割り当てられたグループにユーザーアカウントを追加する場合は、セキュリティ管理者である必要があります。

5. クラウド環境では、［**UEM Self-Service**］の下で、［**BlackBerry Online Account**］または［ローカル **UEM** ユーザーアカウント］を選択します。［ローカル UEM ユーザーアカウント］を選択した場合、BlackBerry UEM Self-Service のパスワードを作成します。管理ロールが割り当てられているユーザーは、パスワードを使用して管理コンソールにアクセスすることもできます。

6. オンプレミス環境で、ローカルユーザーを追加するには、［アカウントのパスワード］フィールドで BlackBerry UEM Self-Service のパスワードを作成します。管理ロールが割り当てられているユーザーは、パスワードを使用して管理コンソールにアクセスすることもできます。

7. ［有効にされたサービス］セクションで、［デバイス管理のユーザーを有効にする］オプションを選択します。

8. ドメインに Workspaces plug-in for BlackBerry UEM がインストールされている場合、Workspaces サービスを有効にするには、次のアクションを実行します。

a) ［**BlackBerry Workspaces**］セクションで、［**BlackBerry Workspaces** を有効にする］チェックボックスをオンにします。Workspaces サービスが有効になっているユーザーには、デフォルトでビジターロールが割り当てられます。

b) 1 つ以上のユーザーロールを選択します。➡ をクリックます。

9. 次のタスクのいずれかを実行します。

タスク	手順
現在割り当てられているアクティベーションプロファイルで、ユーザー自身にデバイスのアクティベーションをしてもらう	**a.** ［アクティベーションオプション］ドロップダウンリストで、［デフォルトのデバイスアクティベーション］を選択します。 **b.** ［アクティベーションパスワード］ドロップダウンリストで、パスワードを設定するかパスワードを自動生成するかを選択します。 **c.** オプションで、アクティベーション期間の有効期限を変更します。アクティベーションの有効期限は、アクティベーションパスワードを有効のままにする時間を指定しています。 **d.** 1 回のデバイスアクティベーションに対してのみアクティベーションパスワードを有効にする場合は、［最初のデバイスがアクティブになったら、アクティベーションの有効期限が切れる］を選択します。 **e.** ［アクティベーションメールテンプレート］ドロップダウンリストで、アクティベーションメールに使用するテンプレートを選択します。
アクティベーションパスワードと特定のアクティベーションプロファイルをペアリングする	**a.** ［アクティベーションオプション］ドロップダウンリストで、［指定されたアクティベーションプロファイルでデバイスアクティベーション］を選択します。 **b.** ［アクティベーションプロファイル］ドロップダウンリストで、パスワードとペアリングするアクティベーションプロファイルを選択します。 **c.** ［アクティベーションパスワード］ドロップダウンリストで、パスワードを設定するかパスワードを自動生成するかを選択します。 **d.** オプションで、アクティベーション期間の有効期限を変更します。アクティベーションの有効期限は、アクティベーションパスワードを有効のままにする時間を指定しています。 **e.** 1 回のデバイスアクティベーションに対してのみアクティベーションパスワードを有効にする場合は、［最初のデバイスがアクティブになったら、アクティベーションの有効期限が切れる］を選択します。 **f.** ［アクティベーションメールテンプレート］ドロップダウンリストで、アクティベーションメールに使用するテンプレートをクリックします。
BlackBerry Dynamics アプリに限定してユーザーにアクティベーションを許可する	**a.** ［アクティベーションオプション］ドロップダウンリストで、［**BlackBerry Dynamics** アクセスキー生成］を選択します。 **b.** ［生成するアクセスキーの数］ドロップダウンリストで、キーの数を選択します。BlackBerry Dynamics アプリをアクティブにする場合、各キーを 1 回のみ使用できます。 **c.** アクセスキーの有効期間を日数で選択します。 **d.** ［アクティベーションメールテンプレート］ドロップダウンリストで、アクティベーションメールに使用するテンプレートをクリックします。
ユーザーを BlackBerry UEM のみに追加する	**a.** ［アクティベーションオプション］ドロップダウンリストで、［設定しない］を選択します。

10. カスタム変数を使用する場合は、［カスタム変数］を展開し、定義した変数に適した値を指定します。

11. 次の操作のいずれかを実行します。

- ユーザーアカウントを保存するには、［保存］をクリックします。

- ユーザーアカウントを保存して、別のユーザーアカウントを作成するには、［保存して新規に作成］をクリックします。

.csv ファイルからのユーザーアカウントの作成

複数のユーザーアカウントを 1 つの .csv ファイルで BlackBerry UEM にインポートして、多数のユーザーアカウントを同時に作成できます。BlackBerry UEM の .csv サンプルファイルを使用して手動で .csv ファイルを作成できます。サンプルファイルは、［ユーザーを追加］ウィンドウの［インポート］タブからダウンロードして入手できます。

要件に応じて、.csv ファイルに次の列を含めることで、ユーザーアカウントのグループメンバーシップやアクティベーション設定も指定できます。

列見出し	説明
グループメンバーシップ	1 つ以上のユーザーグループを各ユーザーアカウントに割り当てます。 複数のユーザーグループを区切るには、セミコロン（;）を使用します。 ［グループメンバーシップ］列を含めないと、ファイルのインポート時に、インポートされたすべてのユーザーアカウントを追加するグループを選択するためのオプションが表示されます。各ユーザーアカウントを特定のユーザーグループに割り当てる場合は、ファイルをインポートする前にこの列を使用します。
MDM（BlackBerry UEM）	ユーザーを MDM で有効にするかどうかを指定します。MDM でユーザーを有効にするには、「Enabled」と入力します。
アクティベーションパスワード	アクティベーションパスワードを入力します。 ［アクティベーションパスワードの生成］の値が［手動］に設定されている場合、この値は必要です。
アクティベーションテンプレート	ユーザーに送信するアクティベーションメールテンプレートの名前を入力します。名前を指定しない場合は、デフォルトのアクティベーションメールテンプレートが使用されます。
アクティベーションパスワードの有効期限	アクティベーションパスワードが期限切れになる前に存続する秒数を入力します。
アクティベーションパスワードの生成	次のいずれかを入力します。 • ［自動］。アクティベーションパスワードは自動的に作成され、ユーザーに送信されます。 • ［手動］。アクティベーションパスワードは、［アクティベーションパスワード］列に設定されます。 • ［無視］。アクティベーションパスワードは生成されません。 値を空白のままにした場合、デフォルトは［自動］です。

列見出し	説明
アクティベーションメールを送信	次のいずれかを入力します。 • ［True］。アクティベーションメールがユーザーに送信されます。 • ［False］。アクティベーションメールはユーザーに送信されません。 ［アクティベーションパスワードの生成］が［自動］に設定されている場合は、この列の値に関係なくアクティベーションメールはユーザーに送信されます。［アクティベーションパスワードの生成］の値が［手動］で、この値が空の場合、デフォルトは［True］です。［アクティベーションパスワードの生成］の値が［無視］の場合、ユーザーはセルフサービスのアクティベーションメールを受信しません。
ユーザーのタイプ	.csv ファイルにローカルユーザーアカウントとディレクトリユーザーアカウントの両方が含まれる場合、この列は常に必須です。次のいずれかを入力します。 • ［L］：ローカルユーザーアカウントの場合 • ［D］：ディレクトリユーザーアカウントの場合 エントリでは大文字と小文字を区別しません。
ディレクトリ UID	（オプション）ディレクトリユーザーアカウントのメールアドレスを入力する代わりに使用します。デフォルトでは、ディレクトリユーザーアカウントの検証にはメールアドレスが使用されます。ただし、代わりにディレクトリ UID を使用するように指定できます。ユーザーアカウントをディレクトリ UID に対して検証できない場合は、エラーがレポートされます。 いずれかのユーザーのディレクトリ UID 値を含める場合は、列の見出しにディレクトリ UID が含まれており、.csv ファイルのすべての行にディレクトリ UID が含まれているか、ディレクトリ UID 列に空のプレースホルダー（,）が含まれている必要があります。

.csv ファイルの例を参照するには、UEM 管理コンソールで、［ユーザー］ **>** ［すべてのユーザー］ **>** ［ユーザーを追加］ **>** ［インポート］ **>** ［サンプル **.csv** ファイルをダウンロード］をクリックします。

.csv ファイルを使用したユーザーアカウントの作成

作業を始める前に：

- .csv ファイルにディレクトリユーザーアカウントが含まれる場合は、BlackBerry UEM が会社のディレクトリに接続されていることを確認します。
- 列数と .csv ファイル内の見出し数が一致していることを確認します。
- 必須の列が含まれていることを確認します。
- 列内の情報が正しいことを確認します。

1. メニューバーで［ユーザー］をクリックします。
2. ［すべてのユーザー］または［管理されているデバイス］タブを選択します。
3. ［ユーザーを追加］をクリックします。
4. ［インポート］タブをクリックします。
5. ［参照］をクリックし、追加するユーザーアカウントが含まれる .csv ファイルへ移動します。

6. ［ロード］をクリックします。
7. エラーがレポートされた場合は、次の操作を実行します。
   a) .csv ファイル内のエラーを修正します。
   b) ［参照］をクリックして、.csv ファイルへ移動します。
   c) ［ロード］をクリックします。
   d) すべてのエラーが修正されるまで、手順 6 を繰り返します。
8. .csv ファイルで［グループメンバーシップ］列が使用されていないが、ローカルグループが BlackBerry UEM に存在し、ユーザーアカウントをグループに追加する場合は、次の操作を実行します。
   a) ［利用可能なグループ］リストで、1 つ以上のグループを選択し、➡ をクリックします。
   b) ［次へ］をクリックします。

   .csv ファイルをインポートする場合は、すべてのユーザーアカウントが、選択したローカルグループに追加されます。ユーザーアカウントがディレクトリにリンクされたグループのメンバーである場合は、BlackBerry UEM と会社のディレクトリとの同期が実行されたときに、自動的にそのグループに関連付けられます。

   管理ロールが割り当てられたグループにユーザーアカウントを追加する場合は、セキュリティ管理者である必要があります。
9. ユーザーアカウントのリストを調べ、次のいずれかの操作を実行します。
   - 無効なディレクトリユーザーアカウントのエラーを修正するには、［キャンセル］をクリックし、手順 6 に進みます。
   - 有効なユーザーアカウントを追加するには、［インポート］をクリックします。無効なディレクトリユーザーアカウントは無視されます。

BlackBerry UEM でのユーザーアカウント .csv ファイルの検証方法

BlackBerry UEM は、ユーザーアカウント .csv ファイルのロード前、ロード中、およびロード直後に .csv ファイルを検証し、検出されたエラーをレポートします。

次は、BlackBerry UEM による .csv ファイルのロードを妨げるエラーの一部です。

- 無効なファイル形式またはファイル拡張子
- ファイル内にデータがない
- 列数とファイル内の見出し数が一致しない

BlackBerry UEM はエラーを検出すると、ファイルのロードを停止し、エラーメッセージを表示します。エラーを修正し、.csv ファイルを再度ロードする必要があります。

BlackBerry UEM は、.csv ファイルをロードした後、インポートされるユーザーアカウントのリストを表示し、該当する場合は、インポートされないディレクトリユーザーアカウントをエラー結果（重複するエントリ、無効なメールアドレスなど）として表示します。次のいずれかを実行できます。

- 操作をキャンセルし、エラーを修正して、.csv ファイルを再度ロードします。
- 続行して、有効なユーザーアカウントをロードします。エラーを伴うディレクトリユーザーアカウントはロードされません。ロードされなかったディレクトリユーザーアカウントは個別の .csv ファイルにコピーして修正する必要があります。そうでないと、同じ .csv ファイルを再ロードした結果、正常にロードされたユーザーアカウントの重複エラーが発生します。

BlackBerry UEM は、ユーザーアカウントを作成する直前に、インポートされたユーザーアカウントの最終検証を実行し、ファイルのインポート時にエラー（別の管理者がユーザーアカウントを作成済みで、同じユーザーアカウントを含む csv ファイルがインポートされた場合など）が発生していないことを確認します。

ユーザーアカウントの表示

［概要］タブに、ユーザーアカウントに関する情報を表示できます。たとえば、次の情報を表示できます。

- アクティブなデバイス
- ユーザーアカウントが属しているユーザーグループ
- 割り当て済みの IT ポリシー、プロファイル、およびアプリ
- ユーザー資格情報プロファイルからユーザーアカウントに直接追加されたクライアント証明書

1. メニューバーで［ユーザー］をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを使用して、ユーザーアカウントを検索します。
   - ［すべてのユーザー］をクリックし、［検索］フィールドに入力します。
   - ［管理されているデバイス］ > ［ユーザー検索］をクリックし、［検索］フィールドに入力します。
3. 検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。

ユーザーアカウントへのメモの追加

メモを追加して、特定のユーザーアカウントに関連する全情報を追跡できます。メモ情報は、ユーザーアカウントで保存され、個々のデバイスには保存されません。ユーザーが削除された場合、メモフィールドの情報も削除されます。メモ機能の使用は、管理者の［ユーザーを編集］権限によって制御されます。

1. メニューバーで［ユーザー］をクリックします。
2. ユーザーアカウントを検索します。
3. 検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。
4. 右上隅にある［メモを追加］アイコンをクリックします。
5. 表示されたダイアログボックスにメモを入力します。入力したメモが自動的に保存され、保存されたメモの存在を示すためにアイコンが変化します。

複数のユーザーアカウントの同時管理

複数のユーザーに対する特定の操作を同時に完了できます。たとえば、選択したグループのユーザーにメールを送信できます。

1. メニューバーで、［ユーザー］ > ［管理されているデバイス］をクリックします。
2. 必要に応じて、ユーザーリストのフィルター。
3. 次の操作のいずれかを実行します。
   - ユーザーリストの一番上にあるチェックボックスをオンにして、すべてのユーザーを選択します。
   - ファイルに含めるユーザーごとにチェックボックスをオンにします。複数のユーザーを選択するには、Shift キーを押しながらクリックします。
4. メニューから、次のアイコンのいずれかをクリックします。

アイコン	説明
	ユーザーへのメールの送信

アイコン	説明
	アクティベーションメールを複数のユーザーに送信
	ユーザーグループへのユーザーの追加
	ユーザーリストの .csv ファイルへのエクスポート
	複数のユーザーへの BlackBerry UEM Self-Service パスワードの送信

ユーザーへのメールの送信

管理コンソールから、1 つのメールを 1 人以上のユーザーに直接送信することができます。ユーザーには、アカウントに関連付けられたメールアドレスが必要です。

オンプレミス環境の場合は、SMTP サーバー設定でメールの送信元のメールアドレスを設定できます。

作業を始める前に： 複数のユーザーにメールを送信するには、「ユーザーへのメールの送信」権限を含む管理者ロールを割り当てられている必要があります。

1. メニューバーで［ユーザー］をクリックします。
2. ［すべてのユーザー］または［管理されているデバイス］タブを選択します。
3. 次のタスクのいずれかを実行します。

タスク	手順
1 人のユーザーにメールを送信する	**a.** ユーザーアカウントを検索します。 **b.** 検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。 **c.** をクリックします。 **d.** また、［**CC**］をクリックして、1 つ以上のメールアドレスをカンマまたはセミコロンで区切って入力し、管理者自身と他のユーザーにメールをコピーすることもできます。
複数のユーザーにメールを送信する	**a.** メールを送信する各ユーザーのチェックボックスをオンにします。 **b.** をクリックします。 **c.** また、［**To**］または［**CC**］をクリックして、1 つ以上のメールアドレスをカンマまたはセミコロンで区切って入力し、管理者自身と他のユーザーにメールを送信またはコピーすることもできます。

4. 件名とメッセージを入力します。
5. ［送信］をクリックします。

複数のユーザーへの BlackBerry UEM Self-Service パスワードの送信

UEM Self-Service パスワードを一度に複数のユーザーに送信できます。パスワードはランダムに生成され、そのパスワードを記載したメールメッセージが各ユーザーに送信されます。

オンプレミス環境の場合は、SMTP サーバー設定でメールの送信元のメールアドレスを設定できます。

1. メニューバーで、［ユーザー］ > ［管理されているデバイス］をクリックします。
2. UEM Self-Service パスワードの送信先のユーザーを選択します。ユーザーには、アカウントに関連付けられたメールアドレスが必要です。
3. をクリックします。
4. ［続行］をクリックします。

ユーザーアカウント情報の編集

次のユーザー情報を編集できます。

- 名前、ユーザー名、表示名、およびメールアドレス
- グループメンバーシップ（ディレクトリにリンクされたグループへのメンバーシップは変更できません）
- ローカルユーザーアカウントのアカウントパスワード
- ユーザーロール
- カスタム変数を定義した場合は、変数情報を編集できます。

メモ： デフォルトの管理者ユーザー、または BlackBerry オンラインアカウント資格情報を使用しているユーザーに関しては、ユーザーの詳細情報を編集できません。

1. メニューバーで、［ユーザー］ > ［管理されているデバイス］をクリックします。
2. ユーザーアカウントを検索します。
3. 検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。
4. をクリックします。
5. ユーザーアカウント情報を編集します。
6. ［保存］をクリックします。

ディレクトリユーザーの情報の同期

会社のディレクトリからユーザーアカウントを追加した場合は、自動同期時刻を待つことなく、ユーザーの情報と会社のディレクトリをいつでも手動で同期できます。

1. メニューバーで［ユーザー］をクリックします。
2. ［すべてのユーザー］または［管理されているデバイス］タブを選択します。
3. ユーザーアカウントを検索します。
4. 検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。
5. をクリックします。

ユーザーからのサービスの削除

1 つ以上の付加価値サービスに対して BlackBerry UEM を有効にしており、サービスに対してユーザーが有効になっている場合、管理者はユーザーからそのサービスを削除できます。BlackBerry UEM からユーザーアカウントを削除しないで、MDM コントロールを削除することもできます。

作業を始める前に：

- MDM コントロールを削除するには、ユーザーからアクティブなデバイスを削除する必要があります。
- Enterprise Identity サービスを削除するには、Enterprise Identity のすべての割り当てを削除する必要があります。

1. メニューバーで［ユーザー］ > ［すべてのユーザー］をクリックします。
2. ユーザーアカウントを検索します。
3. 検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。
4. ⊖ をクリックします。
5. 次のタスクを実行します。

タスク	手順
MDM サービスを削除する	**a.** ［管理されているデバイス］で ⊖ をクリックします。 **b.** ［保存］をクリックします。
Workspaces サービスを削除する	**a.** Workspaces で ⊖ をクリックします。 **b.** ［**WatchDox by BlackBerry** を削除］ダイアログ画面で、次のオプションのいずれかを選択します。 • このユーザーが所有しているすべてのファイルを削除して、すべてのワークスペースグループおよび配布リストからメンバーシップを無効にします。 • ワークスペースグループと配布リストに含まれるこのユーザーのファイルとメンバーシップを別のメールアドレスに転送します。 ［メールアドレス］フィールドに連絡先のメールアドレスを入力します。メールアドレスが既存のユーザーアカウントと関連付けられていない場合は、新しいユーザーアカウントが作成されます。 **c.** ［削除］をクリックします。
Enterprise Identity サービスを削除する	**a.** Enterprise Identity で ⊖ をクリックします。 **b.** ［保存］をクリックします。

終了したら： サービスを有効にするには、「ユーザーのサービスの有効化」を参照してください。

ユーザーのサービスの有効化

1 つ以上の付加価値サービスに対して BlackBerry UEM を有効にした場合、ユーザーのサービスを有効にできます。

1. メニューバーで［ユーザー］ > ［すべてのユーザー］をクリックします。

2. ユーザーアカウントを検索します。
3. 検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。
4. 次のタスクを実行します。

タスク	手順
MDM サービスを有効にする	**a.** ［管理されているデバイス］で ＋ をクリックします。 **b.** ローカルグループが BlackBerry UEM に存在し、ユーザーアカウントをグループに追加する場合は、［利用可能なグループ］リストで、1 つ以上のグループを選択し、➡ をクリックします。 **c.** デバイスアクティベーションパスワードのオプションを選択します。 **d.** ［保存］をクリックします。
Workspaces サービスを有効にする	**a.** Workspaces で ＋ をクリックします。 **b.** Workspaces ロールを割り当てます。 **c.** ［保存］をクリックします。
Enterprise Identity サービスを有効にする	**a.** Enterprise Identity で ＋ をクリックします。 **b.** アプリグループを選択します。 **c.** ［割り当て］をクリックします。

ユーザーアカウントの削除

ユーザーアカウントを削除する場合は、そのユーザーのすべてのデバイスから仕事用データも削除する必要があります。

作業を始める前に：

- 削除するユーザーアカウントに関連付けられているデバイスを無効にします。
- 削除するユーザーアカウントに関連付けられているすべてのサービスを削除します。詳細については、「ユーザーからのサービスの削除」を参照してください。

1. メニューバーで、［ユーザー］ > ［管理されているデバイス］をクリックします。
2. ユーザーアカウントを検索します。
3. 検索結果で、ユーザーアカウントの名前を選択します。
4. 🗑 をクリックします。
5. ［削除］をクリックします。

ユーザーグループへのユーザーの追加

メモ： 管理ロールが割り当てられるユーザーをユーザーグループに追加するには、セキュリティ管理者である必要があります。

1. メニューバーで、［ユーザー］ > ［管理されているデバイス］をクリックします。
2. ユーザーグループに追加するユーザーの横のチェックボックスを選択します。

3. をクリックします。
4. ［利用可能なグループ］リストで、1 つ以上のグループを選択し、 をクリックします。

   メモ： ディレクトリにリンクされたグループへのメンバーシップは変更できません。
5. ［保存］をクリックします。

ユーザーグループからのユーザーの削除

ディレクトリにリンクされたグループからはユーザーを削除できません。

メモ： 管理ロールが割り当てられるユーザーをユーザーグループから削除するには、セキュリティ管理者である必要があります。

1. メニューバーで［グループ］をクリックします。
2. 編集するユーザーグループを検索します。
3. ユーザーグループをクリックします。
4. 削除するユーザーを検索します。
5. ユーザーを選択します。
6. をクリックします。

ユーザーの所属先ユーザーグループの変更

メモ： 管理ロールが割り当てられるユーザーのユーザーグループを変更するには、セキュリティ管理者である必要があります。

1. メニューバーで、［ユーザー］ > ［管理されているデバイス］をクリックします。
2. ユーザーアカウントを検索します。
3. 検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。
4. ［グループメンバーシップ］セクションで、 をクリックします。
5. 次の操作のいずれかを実行します。
   - ユーザーをユーザーグループに追加するには、［利用可能なグループ］リストで、1 つ以上のグループを選択し、 をクリックします。
   - ユーザーをユーザーグループから削除するには、［グループのメンバー］リストで、1 つ以上のグループを選択し、 をクリックします。

   メモ： ディレクトリにリンクされたグループへのメンバーシップは変更できません。
6. ［保存］をクリックします。

ユーザーアカウントへのプロファイルまたは IT ポリシーの割り当て

1. メニューバーで、［ユーザー］ > ［管理されているデバイス］をクリックします。
2. ユーザーアカウントを検索します。

3. 検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。
4. ［**IT** ポリシーおよびプロファイル］セクションで ＋ をクリックします。
5. ［**IT** ポリシー］またはプロファイルの種類をクリックします。
6. ドロップダウンリストで、ユーザーに割り当てるプロファイルまたは IT ポリシーの名前をクリックします。
7. IT ポリシーおよびランク付けされたプロファイルタイプで、既に手順 5 で選択したプロファイルタイプがユーザーに直接割り当てられている場合は、［置換］をクリックします。それ以外の場合は、［割り当て］をクリックします。

ユーザーアカウントへのアプリの割り当て

アプリをユーザーレベルで制御する必要がある場合は、アプリまたはアプリグループをユーザーアカウントに割り当てることができます。アプリをユーザーに割り当てると、ユーザーがデバイスタイプに対してアクティブ化している任意のデバイスでアプリを使用できるようになり、アプリはそのデバイスの仕事用アプリケーションカタログにリストされます。

また、アクティブ化されていないデバイスタイプの場合も、アプリをユーザーに割り当てることができます。ユーザーが将来異なるデバイスタイプをアクティブ化した場合に、その新しいデバイスでも適切なアプリを使用できるようになります。

同じアプリをユーザーアカウントに直接割り当てることができます。また、ユーザーグループまたはデバイスグループから継承することもできます。アプリの設定（たとえば、アプリが必須であるかどうか）は、優先度に応じて割り当てられます。デバイスグループが最も優先され、次に、ユーザーアカウント、ユーザーグループの順に優先されます。

作業を始める前に：

- 使用可能なアプリリストにアプリを追加します。
- オプションでアプリグループへアプリを追加できます。

1. メニューバーで、［ユーザー］ **>** ［管理されているデバイス］をクリックします。
2. ユーザーアカウントを検索します。
3. 検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。
4. ［アプリ］セクションで、＋ をクリックします。
5. ユーザーアカウントに割り当てるアプリまたはアプリグループの横にあるチェックボックスをオンにします。
6. ［次へ］をクリックします。
7. アプリの［種別］ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。
   - アプリのインストールをユーザーに求める場合は、［必須］を選択します。
   - ユーザーにアプリのインストールおよび削除を許可するには、［オプション］を選択します。

     メモ：同じアプリが、ユーザーアカウント、ユーザーが属するユーザーグループ、およびデバイスが属するデバイスグループに割り当てられている場合、デバイスグループで割り当てられているアプリの種別が優先されます。
8. iOS デバイスの場合、アプリごとの VPN 設定をアプリまたはアプリグループに割り当てるには、アプリまたはアプリグループの［**per-app VPN**］ドロップダウンリストで、アプリまたはアプリグループに関連付けられた設定を選択します。
9. iOS および Android デバイスで利用可能なアプリ設定がある場合は、アプリに割り当てるアプリ設定を選択します。

ユーザーアカウントへのアプリグループの割り当て

アプリをユーザーレベルで制御する必要がある場合は、アプリまたはアプリグループをユーザーアカウントに割り当てることができます。アプリをユーザーに割り当てると、ユーザーがデバイスタイプに対してアクティブ化している任意のデバイスでアプリを使用できるようになり、アプリはそのデバイスの仕事用アプリケーションカタログにリストされます。

また、アクティブ化されていないデバイスタイプの場合も、アプリをユーザーに割り当てることができます。ユーザーが将来異なるデバイスタイプをアクティブ化した場合に、その新しいデバイスでも適切なアプリを使用できるようになります。

同じアプリをユーザーアカウントに直接割り当てることができます。また、ユーザーグループまたはデバイスグループから継承することもできます。アプリの設定（たとえば、アプリが必須であるかどうか）は、優先度に応じて割り当てられます。デバイスグループが最も優先され、次に、ユーザーアカウント、ユーザーグループの順に優先されます。

作業を始める前に： アプリグループへアプリを追加します。

1. メニューバーで、［ユーザー］ **>** ［管理されているデバイス］をクリックします。
2. ユーザーアカウントを検索します。
3. 検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。
4. ［アプリ］セクションで、＋ をクリックします。
5. ユーザーアカウントに割り当てるアプリまたはアプリグループの横にあるチェックボックスをオンにします。
6. ［次へ］をクリックします。
7. アプリの［種別］ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。
   - アプリのインストールをユーザーに求める場合は、［必須］を選択します。
   - ユーザーにアプリのインストールおよび削除を許可するには、［オプション］を選択します。

     メモ： 同じアプリが、ユーザーアカウント、ユーザーが属するユーザーグループ、およびデバイスが属するデバイスグループに割り当てられている場合、デバイスグループで割り当てられているアプリの種別が優先されます。
8. iOS デバイスの場合、アプリごとの VPN 設定をアプリまたはアプリグループに割り当てるには、アプリまたはアプリグループの［**per-app VPN**］ドロップダウンリストで、アプリまたはアプリグループに関連付けられた設定を選択します。
9. iOS アプリを追加する場合は、次のタスクのいずれかを実行します。

タスク	手順
VPP アカウントをまだ追加していない場合、または iOS アプリを追加しない場合	**a.** ［割り当て］をクリックします。

タスク	手順
iOS アプリを追加する場合で、少なくとも 1 つの VPP アカウントを既に追加した場合	**a.** ［次へ］をクリックします。 **b.** iOS アプリにライセンスを割り当てる場合は、［はい］を選択します。ライセンスを割り当てない場合、または、アプリに割り当てるライセンスがない場合には、［いいえ］を選択します。 **c.** アプリにライセンスが割り当てられている場合には、［アプリライセンス］ドロップダウンリストで、アプリに関連付ける VPP アカウントを選択します。 **d.** ［ライセンスの割り当て先］ドロップダウンリストで、ライセンスを［ユーザー］または［デバイス］に割り当てます。［アプリライセンス］ドロップダウンリストに値が指定されていない場合、［ライセンスの割り当て先］ドロップダウンリストは使用できません。 **e.** ［割り当て］をクリックします。 支払い済みのアプリをインストールするには、ユーザーは手順に従ってデバイスで組織の VPP に登録する必要があります。一度はこのタスクを完了する必要があります メモ： 使用可能な数より多くのライセンスにアクセスを付与した場合は、使用可能なライセンスにアクセスしている最初のユーザーがアプリをインストールできます。アプリが必須のアプリであり、利用可能なライセンスがない場合、ユーザーがアプリをインストールするか、ユーザーに割り当てられたコンプライアンスルールに従う前に、ライセンスを取得する必要があります。

ユーザーグループの作成と管理

ユーザーグループは共通のプロパティを共有する関連するユーザーの集合です。グループとしてユーザーを管理した方が、同時にグループのすべてのメンバーに対してプロパティを追加、変更、または削除できるため、個々のユーザーを管理するより効率的です。ユーザーは、一度に複数のグループに所属できます。ユーザーグループの設定を作成または更新する際は、管理コンソールで IT ポリシー、プロファイル、およびアプリを割り当てることができます。

2 種類のユーザーグループを作成できます。

- ディレクトリにリンクされたグループは、会社のディレクトリ内のグループにリンクします。ディレクトリのユーザーアカウントのみがディレクトリにリンクされたグループのメンバーになることができます。
- ローカルグループは、BlackBerry UEM で作成および維持され、それらにローカルユーザーアカウントとディレクトリユーザーアカウントを割り当てることができます。

ユーザーグループの作成後、グループを別のグループのメンバーとして定義できます。詳細については、「ユーザーグループへのネストされたグループの追加」を参照してください。

ディレクトリにリンクされたグループの作成

管理者は BlackBerry UEM に会社のディレクトリ内の 1 つ以上のグループにリンクされたグループを作成できます。これらの BlackBerry UEM グループは、「ディレクトリにリンクされたグループ」と呼ばれます。ディレクトリのユーザーアカウントだけが、ディレクトリにリンクされたグループのメンバーになることができます。

BlackBerry UEM は、スケジュールされた間隔で、ディレクトリにリンクされたグループのメンバーシップを、それに関連付けられた 1 つ以上の会社のディレクトリグループと自動的に同期します。会社のディレクトリグループに対して追加または削除されたユーザーは、ディレクトリにリンクされたグループに対して追加または削除されます。

メモ： ディレクトリにリンクされたグループにリンクした会社のディレクトリグループにユーザーを移動させると、そのユーザーには、グループに割り当てられたポリシー、プロファイル、およびアプリが割り当てられます。ユーザーが、ディレクトリにリンクされたグループにリンクされた会社のディレクトリグループから削除されると、ポリシー、プロファイル、およびアプリもユーザーから削除されます。

ディレクトリにリンクされている各グループは、単一の会社ディレクトリにのみリンクできます。たとえば、BlackBerry UEM に 2 つの Microsoft Active Directory 接続（A および B）があり、接続 A にリンクしたディレクトリにリンクされたグループを作成した場合、接続 A からのディレクトリグループのみにリンクできます。他のすべてのディレクトリ接続について、ディレクトリにリンクされたグループを新たに作成する必要があります。

この機能を有効にするには、「オンプレミスの設定関連の資料」または「クラウドの設定関連の資料」の「ディレクトリにリンクされたグループを有効にする」を参照してください。

ディレクトリにリンクされたグループを同期しても、BlackBerry UEM でユーザーが追加または削除されることはありません。新しい会社のディレクトリユーザーが作成されたときに BlackBerry UEM でユーザーアカウントの作成を許可するには、オンボーディングを有効にして設定する必要があります。詳細については、「オンプレミスの設定関連の資料」または「クラウドの設定関連の資料」の「オンボーディングを有効にする」を参照してください。

ディレクトリにリンクされたグループの作成

作業を始める前に： ディレクトリにリンクされたグループを有効にします。手順については、「オンプレミスの設定関連の資料」または「クラウドの設定関連の資料」の「ディレクトリにリンクされたグループを有効にする」を参照してください。

1. メニューバーで［グループ］をクリックします。
2. をクリックします。
3. グループ名を入力します。
4. ［リンクされたディレクトリグループ］セクションで、次の操作を実行します。
   a) ＋ をクリックします。
   b) リンク先となる会社のディレクトリグループの名前または名前の一部を入力します。
   c) 複数の会社のディレクトリ接続がある場合は、検索する接続を選択します。この選択を行った後、ディレクトリにリンクされたグループは、選択した接続に、永続的に関連付けられます。
   d) をクリックします。
   e) 検索結果リストで、会社のディレクトリグループを選択します。
   f) ［追加］をクリックします。会社のディレクトリグループがリストに表示され、グループのリンク先の会社のディレクトリ接続はセクションタイトルの横に表示されます。
   g) 必要に応じて、［ネストされたグループをリンク］チェックボックスをオンにします。チェックボックスをオフのままにして、すべてのネストされたグループへリンクすることもできれば、チェックボックスをオンにして、ディレクトリ設定によってネストされたグループの数を制御することもできます。
   h) 追加のグループをリンクするには、これらの手順を繰り返します。
5. ディレクトリにリンクされたグループにユーザーロールを割り当てるには、次の操作を実行します。
   a) ［ユーザーロール］セクションで、＋ をクリックします。
   b) ドロップダウンリストで、グループに割り当てるユーザーロールの名前をクリックします。
   c) ［追加］をクリックします。
6. IT ポリシーまたはプロファイルをディレクトリにリンクされたグループに割り当てるには、次の操作を実行します。
   a) ［**IT** ポリシーおよびプロファイル］セクションで ＋ をクリックします。
   b) ［**IT** ポリシー］またはプロファイルの種類をクリックします。
   c) ドロップダウンリストで、グループに割り当てる IT ポリシーまたはプロファイルの名前をクリックします。
   d) ［割り当て］をクリックします。
7. アプリをディレクトリにリンクされたグループに割り当てるには、［割り当てられたアプリ］セクションで、＋ をクリックします。
8. アプリを検索します。
9. 検索結果で、アプリを選択します。
10. ［次へ］をクリックします。
11. アプリの［種別］ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。
    - アプリをデバイスへ自動的にインストールし、ユーザーがこのアプリを削除できないようにするには、［必須］を選択します。このオプションは、BlackBerry アプリでは使用できません。
    - ユーザーにアプリのインストールおよび削除を許可するには、［オプション］を選択します。
12. iOS デバイスの場合、アプリごとの VPN 設定をアプリまたはアプリグループに割り当てるには、アプリまたはアプリグループの［**per-app VPN**］ドロップダウンリストで、アプリまたはアプリグループに関連付けられた設定を選択します。

13. ［割り当て］をクリックします。
14. ［追加］をクリックします。

会社のディレクトリグループの既存のディレクトリにリンクされたグループへの追加

1. メニューバーで［グループ］をクリックします。
2. ディレクトリにリンクされたグループをクリックします。
3. ［設定］タブをクリックします。
4. をクリックします。
5. ［リンクされたディレクトリグループ］セクションで ＋ をクリックします。
6. 会社のディレクトリグループの名前を入力します。
7. ［検索］をクリックします。
8. 検索結果リストで、会社のディレクトリグループを選択します。
9. ［追加］をクリックします。
10. 必要な場合は、［ネストされたグループをリンク］を選択します。

ローカルグループの作成

1. メニューバーで［グループ］をクリックします。
2. をクリックします。
3. ユーザーグループの名前を入力します。
4. オプションで、ユーザーグループの説明を入力します。
5. ユーザーロールをローカルグループに割り当てるには、次の操作を実行します。
   a) ［ユーザーロール］セクションで、＋ をクリックします。
   b) ドロップダウンリストで、グループに割り当てるユーザーロールの名前をクリックします。
   c) ［追加］をクリックします。
6. IT ポリシーまたはプロファイルをローカルグループに割り当てるには、次の操作を実行します。
   a) ［**IT** ポリシーおよびプロファイル］セクションで ＋ をクリックします。
   b) ［**IT** ポリシー］またはプロファイルの種類をクリックします。
   c) ドロップダウンリストで、グループに割り当てる IT ポリシーまたはプロファイルの名前をクリックします。
   d) ［割り当て］をクリックします。
7. アプリをユーザーグループに割り当てるには、［割り当てられたアプリ］セクションで、＋ をクリックします。
8. アプリを検索します。
9. 検索結果で、アプリを選択します。
10. ［次へ］をクリックします。
11. アプリの［種別］ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。
    - アプリをデバイスへ自動的にインストールし、ユーザーがこのアプリを削除できないようにするには、［必須］を選択します。このオプションは、BlackBerry アプリでは使用できません。
    - ユーザーにアプリのインストールおよび削除を許可するには、［オプション］を選択します。

メモ：同じアプリが、ユーザーアカウントと、ユーザーが属するユーザーグループに割り当てられている場合、ユーザーアカウントに割り当てられているアプリの種別が優先されます。

12. iOS デバイスの場合、アプリごとの VPN 設定をアプリまたはアプリグループに割り当てるには、アプリまたはアプリグループの［**per-app VPN**］ドロップダウンリストで、アプリまたはアプリグループに関連付けられた設定を選択します。
13. ［割り当て］をクリックします。
14. ユーザーグループプロパティの指定が完了したら、［追加］をクリックします。

ユーザーグループの表示

1. メニューバーで［グループ］をクリックします。
2. ユーザーグループを検索します。
3. 検索結果で、ユーザーグループの名前をクリックします。
4. ユーザーグループのメンバーを表示するには、次の操作を実行します。
   a) 割り当て済みのユーザーアカウントを表示するには、［ユーザー］をクリックします。
   b) 割り当て済みのネストされたグループを表示するには、［ネストされたグループ］をクリックします。
5. ユーザーグループに関する次の情報を表示するには、［設定］をクリックします。
   - リンクされたディレクトリグループ（ディレクトリにリンクされたグループの場合に使用可能）
   - 割り当て済みの IT ポリシー、プロファイル、およびアプリ

ユーザーグループの名前の変更

1. メニューバーで［グループ］をクリックします。
2. 表示するユーザーグループを検索します。
3. ユーザーグループをクリックします。
4. をクリックします。
5. ユーザーグループの名前を変更します。
6. 必要に応じて、ユーザーグループの説明を変更します。
7. ［保存］をクリックします。

ユーザーグループを削除する

ユーザーグループを削除しても、グループのユーザーは削除されません。ユーザーに割り当てられているグループプロパティは、削除または変更されます。

1. メニューバーで［グループ］をクリックします。
2. 削除するユーザーグループを検索します。
3. ユーザーグループをクリックします。
4. をクリックします。
5. ［削除］をクリックします。

ユーザーグループへのネストされたグループの追加

グループをユーザーグループ内でネストする場合、ネストされたグループのメンバーはユーザーグループのプロパティを継承します。BlackBerry UEM でネスト構造を作成および維持し、ディレクトリにリンクされたグループとローカルグループの両方を、各タイプのユーザーグループ内にネストすることができます。ネストされたグループをユーザーグループに追加すると、ネストされたグループに属するグループもすべて追加されます。

1. メニューバーで［グループ］をクリックします。
2. ユーザーグループを検索します。
3. 検索結果で、ユーザーグループの名前をクリックします。
4. ［ネストされたグループ］タブをクリックします。
5. ＋ をクリックします。
6. 1 つ以上の使用可能なグループを選択します。
7. ［追加］をクリックします。

ユーザーグループからのネストされたグループの削除

ユーザーグループに直接割り当てられたネストされたグループは削除できます。

1. メニューバーで［グループ］をクリックします。
2. ユーザーグループを検索します。
3. 検索結果で、ユーザーグループの名前をクリックします。
4. ［ネストされたグループ］タブをクリックします。
5. 削除する各ネストされたグループの横にある ✕ をクリックします。

ユーザーグループへのプロファイルまたは IT ポリシーの割り当て

1. メニューバーで［グループ］ > ［ユーザー］をクリックします。
2. グループリストで、ユーザーグループの名前をクリックします。
3. ［割り当てられたプロファイル］セクションで、＋ をクリックします。
4. ［**IT** ポリシー］またはプロファイルの種類をクリックします。
5. ドロップダウンリストで、グループに割り当てるプロファイルまたは IT ポリシーの名前をクリックします。
6. IT ポリシーおよびランク付けされたプロファイルタイプで、既に手順 6 で選択したプロファイルタイプがグループに直接割り当てられている場合は、［置換］をクリックします。それ以外の場合は、［割り当て］をクリックします。

ユーザーグループへのアプリの割り当て

アプリをユーザーグループに割り当てると、ユーザーグループのメンバーがアクティブ化している任意の適用可能なデバイスで、そのアプリを使用できるようになります。また、ユーザーグループのメンバーがアクティブ化

していないデバイスタイプの場合も、ユーザーグループにアプリを割り当てることができます。これによって、グループのメンバーが将来異なるデバイスタイプをアクティブ化した場合に、その新しいデバイスでも適切なアプリを使用できるようになります。

ユーザーアカウントが、同じアプリまたはアプリグループが割り当てられている複数のユーザーグループのメンバーである場合、アプリまたはアプリグループのインスタンスは、そのユーザーアカウントに割り当てられたアプリのリストに 1 つだけ表示されます。同じアプリをユーザーアカウントに直接割り当てることができます。また、ユーザーグループまたはデバイスグループから継承することもできます。アプリの設定（例えば、アプリが必須であるかどうかなど）は、優先度に応じて割り当てられます。デバイスグループには、最も高い優先度が割り当てられ、その次に、ユーザーアカウント、ユーザーグループの順になります。

作業を始める前に：

- 使用可能なアプリリストにアプリを追加します。
- オプションでアプリグループへアプリを追加できます。

1. メニューバーで［グループ］ **>** ［ユーザー］をクリックします。
2. グループリストで、ユーザーグループの名前をクリックします。
3. ［割り当てられたアプリ］セクションで、＋ をクリックします。
4. 検索フィールドに、追加するアプリのアプリ名、ベンダー、または URL を入力します。
5. ユーザーグループに割り当てるアプリまたはアプリグループの横にあるチェックボックスをオンにします。
6. ［次へ］をクリックします。
7. アプリの［種別］ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。
   - アプリのインストールをユーザーに求める場合は、［必須］を選択します。
   - ユーザーにアプリのインストールおよび削除を許可するには、［オプション］を選択します。

     メモ：同じアプリが、ユーザーアカウント、ユーザーが属するユーザーグループ、およびデバイスが属するデバイスグループに割り当てられている場合、デバイスグループで割り当てられているアプリの種別が優先されます。
8. iOS デバイスの場合、アプリごとの VPN 設定をアプリまたはアプリグループに割り当てるには、アプリまたはアプリグループの［**per-app VPN**］ドロップダウンリストで、アプリまたはアプリグループに関連付けられた設定を選択します。
9. iOS および Android デバイスで利用可能なアプリ設定がある場合は、アプリに割り当てるアプリ設定を選択します。

ユーザーグループへのアプリグループの割り当て

特定のアプリグループをユーザーグループに割り当てると、ユーザーグループのメンバーがアクティベーションを行った任意の適用可能なデバイスで、アプリグループ内のアプリが利用可能になります。また、ユーザーグループのメンバーがアクティブ化していないデバイスタイプの場合も、ユーザーグループにアプリを割り当てることができます。これによって、グループのメンバーが将来異なるデバイスタイプをアクティブ化した場合に、その新しいデバイスでも適切なアプリを使用できるようになります。

ユーザーアカウントが、同じアプリまたはアプリグループが割り当てられている複数のユーザーグループのメンバーである場合、アプリグループのインスタンスは、そのユーザーアカウントに割り当てられたアプリのリストに 1 つだけ表示されます。同じアプリをユーザーアカウントに直接割り当てることができます。また、ユーザーグループまたはデバイスグループから継承することもできます。アプリの設定（たとえば、アプリが必須である

かどうか）は、優先度に応じて割り当てられます。デバイスグループが最も優先され、次に、ユーザーアカウント、ユーザーグループの順に優先されます。

作業を始める前に：

- アプリグループへアプリを追加します。

1. メニューバーで［グループ］をクリックします。
2. ［ユーザーグループ］タブで、グループの名前をクリックします。
3. ［割り当てられたアプリ］セクションで、＋をクリックします。
4. 検索フィールドに、追加するアプリグループの名前を入力します。
5. ユーザーグループに割り当てるアプリまたはアプリグループの横にあるチェックボックスをオンにします。
6. ［次へ］をクリックします。
7. アプリの［種別］ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。
   - アプリのインストールをユーザーに求める場合は、［必須］を選択します。
   - ユーザーにアプリのインストールおよび削除を許可するには、［オプション］を選択します。

     メモ：同じアプリが、ユーザーアカウント、ユーザーが属するユーザーグループ、およびデバイスが属するデバイスグループに割り当てられている場合、デバイスグループで割り当てられているアプリの種別が優先されます。
8. iOS デバイスの場合、アプリごとの VPN 設定をアプリまたはアプリグループに割り当てるには、アプリまたはアプリグループの［**per-app VPN**］ドロップダウンリストで、アプリまたはアプリグループに関連付けられた設定を選択します。
9. 次のタスクのいずれかを実行します。

タスク	手順
VPP アカウントをまだ追加していない場合、または iOS アプリを追加しない場合	**a.** ［割り当て］をクリックします。

タスク	手順
iOS アプリを追加する場合で、少なくとも 1 つの VPP アカウントを既に追加した場合	**a.** ［次へ］をクリックします。 **b.** iOS アプリにライセンスを割り当てる場合は、［はい］を選択します。ライセンスを割り当てない場合、または、アプリに割り当てるライセンスがない場合には、［いいえ］を選択します。 **c.** アプリにライセンスが割り当てられている場合には、［アプリライセンス］ドロップダウンリストで、アプリに関連付ける VPP アカウントを選択します。 **d.** ［ライセンスの割り当て先］ドロップダウンリストで、ライセンスを［ユーザー］または［デバイス］に割り当てます。［アプリライセンス］ドロップダウンリストに値が指定されていない場合、［ライセンスの割り当て先］ドロップダウンリストは使用できません。 **e.** ［割り当て］をクリックします。 支払い済みのアプリをインストールするには、ユーザーは手順に従ってデバイスで組織の VPP に登録する必要があります。一度はこのタスクを完了する必要があります。 メモ： 使用可能な数より多くのライセンスにアクセスを付与した場合は、使用可能なライセンスにアクセスしている最初のユーザーがアプリをインストールできます。アプリが必須のアプリであり、利用可能なライセンスがない場合、ユーザーがアプリをインストールするか、ユーザーに割り当てられたコンプライアンスルールに従う前に、ライセンスを取得する必要があります。

デバイスグループの作成

デバイスグループは、機種と製造元、OS のタイプとバージョン、通信事業者、デバイスが組織所有かユーザー所有かなどの共通の属性を持つデバイスのグループです。BlackBerry UEM は、定義されたデバイスの属性に基づき、デバイスをデバイスグループに自動的に加えたり、デバイスグループから外したりします。

デバイスグループを使用して、各個別ユーザーに割り当てられた特定のデバイスに、ポリシー、プロファイル、アプリのさまざまなセットを適用できます。たとえば、デバイスグループを使用して、BlackBerry 10 OS を実行しているすべてのデバイスに特定の IT ポリシーを適用したり、T-Mobile ネットワーク上で Android OS 7.0 以降を実行しているすべての HTC EVO デバイスに適用したりすることができます。

デバイスグループに割り当てられたポリシー、プロファイル、およびアプリは、ユーザーまたはユーザーグループに割り当てられたものより優先されます。ただし、アクティベーションプロファイルまたはユーザー証明書をデバイスグループに割り当てることはできません。

デバイスグループの作成

1. メニューバーで［グループ］ > ［デバイス］をクリックします。
2. をクリックします。
3. デバイスグループの名前を入力します。
4. ［ユーザーグループへの領域］セクションで、デバイスグループを適用する 1 つ以上のユーザーグループを選択できます。ユーザーグループを選択しない場合、デバイスグループはすべてのアクティブ化されたデバイスに適用されます。
5. ［デバイスクエリ］セクションの最初のドロップダウンリストで、［いずれか］または［すべて］をクリックします。

   ［すべて］を選択した場合、デバイスは、デバイスグループに含めるように管理者が定義したすべての属性に一致している必要があります。［いずれか］を選択した場合、デバイスは、デバイスグループに含めるように管理者が定義した属性のうち 1 つのみに一致している必要があります。
6. ［デバイスクエリ］セクションで、次の操作を実行します。
   - ［属性］ドロップダウンリストで、属性をクリックします。
   - ［演算子］ドロップダウンリストで、演算子をクリックします。
   - ［値］ドロップダウンリストで、値をクリックするか、入力します。

   クエリをフォーカスするため、行を追加または削除できます。
7. ［次へ］をクリックします。
8. IT ポリシーまたはプロファイルをデバイスグループに割り当てるには、次の操作を実行します。
   a) ［**IT** ポリシーおよびプロファイル］セクションで ＋ をクリックします。
   b) ［**IT** ポリシー］またはプロファイルの種類をクリックします。
   c) ドロップダウンリストで、グループに割り当てる IT ポリシーまたはプロファイルの名前をクリックします。
   d) ［割り当て］をクリックします。
9. アプリまたはアプリグループをデバイスグループに割り当てるには、［割り当てられたアプリ］セクションで、＋ をクリックします。

メモ： 権限はユーザーのみに付与できるため、管理者はデバイスグループに BlackBerry Dynamics アプリを追加できません。アプリグループに含まれている BlackBerry Dynamics アプリで、管理者がデバイスグループに追加したものは、ユーザーに割り当てられません。

メモ： Android Enterprise がサポートされる BlackBerry UEM 環境の場合、オプションの種別になっている Android アプリは、デバイスグループに追加できません。Google Play for Work は、アプリをデバイス ID に割り当てられません。Google Play for Work は、アプリを Google ユーザー ID のみに割り当てられます。必須の種別になっている Android アプリをデバイスグループに追加すると、そのアプリはインストールされますが、Google Play for Work のリストには表示されません。

10. アプリを検索します。
11. 検索結果で、アプリを選択します。
12. ［次へ］をクリックします。
13. アプリまたはアプリグループの［種別］ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。
    - アプリが iOS または Android アプリの場合：ユーザーに割り当てられたコンプライアンスプロファイルでアプリ向けに定義された操作に従うことをユーザーに対して要求するには、［必須］を選択します。
    - アプリが内部 BlackBerry 10 アプリの場合：内部アプリを割り当てられたデバイスに自動的にインストールするには、［必須］を選択します。このオプションは、内部 BlackBerry 10 アプリでのみ使用可能です。BlackBerry World ストアから追加されたアプリは、オプションにのみ指定できます。
    - アプリグループが Android Enterprise をサポートしている場合、種別は必須にのみ設定できます。
    - ユーザーにアプリのインストールおよび削除を許可するには、［オプション］を選択します。

      メモ： 同じアプリをユーザーアカウントに直接割り当てることができます。また、ユーザーグループまたはデバイスグループから継承することもできます。アプリの設定（例えば、アプリが必須であるかどうか）は、優先度に応じて割り当てられます。デバイスグループは、ユーザーアカウントおよびユーザーグループよりも優先されます。
14. iOS デバイスの場合、アプリごとの VPN 設定をアプリまたはアプリグループに割り当てるには、アプリまたはアプリグループの［**per-app VPN**］ドロップダウンリストで、アプリまたはアプリグループに関連付けられた設定を選択します。
15. iOS および Android デバイスで利用可能なアプリ設定がある場合は、アプリに割り当てるアプリ設定を選択します。
16. ［割り当て］をクリックします。
17. 完了したら、デバイスグループプロパティを指定して［保存］をクリックします。

デバイスグループの編集

1. メニューバーで［グループ］ **>** ［デバイス］をクリックします。
2. 編集するデバイスグループの名前をクリックします。
3. ✎ をクリックします。
4. 必要な編集を加えます。
5. ［保存］をクリックします。

デバイスグループのパラメーターの定義

デバイスグループを作成する場合は、1 つ以上の属性ステートメントを含むデバイスクエリを設定します。デバイスが任意の属性ステートメントに一致した場合、またはすべての属性ステートメントに一致した場合にのみ、デバイスをデバイスグループに所属させるかどうかを指定できます。各属性ステートメントには、属性、演算子、値が含まれます。

属性	演算子	値
通信事業者	• = • != • 次で始まる	テキストフィールドに、T-Mobile、Bell などの通信事業者の名前を入力します。
BlackBerry Dynamics	• = • !=	ドロップダウンリストで、次のオプションのいずれかを選択します。 • 無効 • 有効
製造元	• = • != • 次で始まる	テキストフィールドに、Apple、BlackBerry などのデバイスの製造元の名前を入力します。
機種	• = • != • 次で始まる	テキストフィールドに、iPhone 5S、BlackBerry Classic など、デバイスの機種名を入力します。
OS	• = • !=	ドロップダウンリストで、次のオプションのいずれかを選択します。 • Android • BlackBerry 10 • iOS • macOS • Windows
OS バージョン	• = • != • >= • <=	テキストフィールドに、7.1.1 または 10.3 などの OS バージョンを入力します。この属性を使用する場合は、OS 属性も指定する必要があります。
所有権	• = • !=	ドロップダウンリストで、次のオプションのいずれかを選択します。 • 仕事用 • 個人 • 指定なし

属性	演算子	値
アクティベーションタイプ	• = • !=	ドロップダウンリストで、アクティベーションタイプを選択します。リストには、アクティベーションプロファイルにある割り当て可能なアクティベーションタイプと同じものが含まれています。
Knox Workspace	• = • != • 次で始まる	テキストフィールドに、2.2 など、Samsung Knox Workspace のバージョンを入力します。

デバイスグループの表示

1. メニューバーで［グループ］ > ［デバイス］をクリックします。
2. 表示するデバイスグループを検索します。
3. デバイスグループをクリックします。
4. 次の操作のいずれかを実行します。
   - デバイスグループに割り当てられたデバイスを表示するには、［デバイス］タブをクリックします。
   - デバイスグループに割り当てられたユーザーグループ、デバイスクエリ、IT ポリシー、プロファイル、またはアプリを表示するには、［設定］タブを選択します。

デバイスグループの名前の変更

1. メニューバーで［グループ］ > ［デバイス］をクリックします。
2. 表示するデバイスグループを検索します。
3. デバイスグループをクリックします。
4. をクリックします。
5. デバイスグループの名前を変更します。
6. ［次へ］をクリックします。
7. ［保存］をクリックします。

デバイスグループの削除

デバイスグループを削除するには、デバイスグループが適用された全ユーザーグループを管理する権限を取得する必要があります。

1. メニューバーで［グループ］ > ［デバイス］をクリックします。
2. 表示するデバイスグループを検索します。
3. デバイスグループをクリックします。
4. をクリックします。
5. ［削除］をクリックします。

共有デバイスグループの作成と管理

複数のユーザーによる iOS デバイスの共有を許可し、ユーザーごとに固有の設定にすることも、すべてのユーザーに同じ設定にすることもできます。ユーザーが共有デバイスをチェックアウトするために受け入れる必要がある使用条件をカスタマイズすることができます。ユーザーは、ローカルまたは Microsoft Active Directory 認証を使用してデバイスをチェックアウトできます。この認証を使用してチェックアウトした場合、デバイスをチェックインでき、次のユーザーに使用できます。チェックアウトおよびチェックイン中、共有デバイスは BlackBerry UEM に管理されたままです。

この機能は、次の設定で、監視対象のデバイス用に設計されています。

- アプリロックモード有効
- VPP アプリ割り当て済み

メモ： この機能は BlackBerry Dynamics アプリをサポートしていません。共有デバイスグループを所有しているユーザーアカウントのほか、共有デバイスグループにも同じ BlackBerry Dynamics プロファイルを割り当てる必要があります。プロファイルで、［UEM Client を BlackBerry Dynamics に登録可能にする］オプションが選択されていないことを確認する必要があります。

共有デバイスグループの作成

共有デバイスグループを作成すると、ローカルユーザーアカウントが作成されます。このローカルユーザーアカウントは、共有デバイスグループを所有しています。

1. メニューバーで、［専用デバイス］ > ［共有デバイスグループ］をクリックします。
2. 検索バーの横にある ＋ をクリックします。
3. 共有デバイスグループの名前を入力します。
4. オプションで共有デバイスグループの説明を入力します。
5. デバイスのアクティベーションのためにユーザー名を入力します。
6. 共有デバイスのチェックアウト時にサービス条件への同意をユーザーに求めるには、次のアクションを実行します。
   a) ［サービスの条件を有効にする］を選択します。
   b) サービス条件のテキストを入力します。
7. ［付与されたユーザー］セクションでユーザーを検索し、検索結果のリストでその名前をクリックします。
8. 追加するユーザーごとに、手順 7 を繰り返します。
9. ［保存］をクリックします。

終了したら： UEM Client アプリのロックを有効にするには、共有デバイスグループの情報を編集します。

共有デバイスのアクティベーション

共有デバイスをユーザーがチェックアウトできるようにするには、事前にこれらをアクティブにしておく必要があります。ユーザーのプライバシー - ユーザー登録 アクティベーションタイプはサポートされていません。

作業を始める前に： 共有デバイスグループに割り当てられる BlackBerry Dynamics プロファイルで、［**BlackBerry Dynamics** に登録する **UEM Client** を有効にする］オプションが選択されていないことを確認し

ます。共有デバイスグループを所有しているユーザーアカウントにも、同じプロファイルが割り当てられることを確認します。

1. メニューバーで、［専用デバイス］ > ［共有デバイスグループ］をクリックします。
2. 共有デバイスグループを検索します。
3. 検索結果で、共有デバイスグループの名前をクリックします。
4. ［デバイスのアクティベーション］をクリックして、サーバーのアドレス、アクティベーションのユーザー名、およびパスワードを表示します。
5. デバイスのアクティベーション情報を使用して、デバイスをアクティブにします。詳細については、「iOS デバイスのアクティブ化」を参照してください。

終了したら： アクティブ化されたデバイスが［共有デバイス］セクションに表示されていることを確認します。BlackBerry UEM はグループ名を使用してデバイス名を生成し、番号を追加します。例えば、グループ名が Example の場合、アクティブにした最初のデバイスは Example 01 という名前になります。

ユーザーのチェックアウト履歴の表示

ユーザーが使用した共有デバイスのリストを表示できます。各レコードは、デバイスのチェックアウト時刻とチェックイン時刻を示し、リストにはユーザーの最後の 50 レコードが表示されます。ユーザーのチェックアウト履歴は、ユーザーがデバイスをチェックインすると更新されます。

1. メニューバーで、［専用デバイス］ > ［共有デバイスグループ］をクリックします。
2. 共有デバイスグループを検索します。
3. 検索結果で、共有デバイスグループの名前をクリックします。
4. ［付与されたユーザー］セクションで、ユーザーの［チェックアウト履歴］列にある［表示］をクリックします。

共有デバイスグループのユーザーメンバーシップの編集

共有デバイスグループのユーザーメンバーシップでは、グループ用にアクティブにされた共有デバイスにアクセスできるユーザーのリストを指定します。ユーザーは、1 つ以上の共有デバイスグループに属することができます。

1. メニューバーで、［専用デバイス］ > ［共有デバイスグループ］をクリックします。
2. 共有デバイスグループを検索します。
3. 検索結果で、共有デバイスグループの名前をクリックします。
4. ［付与されたユーザー］セクションで、次の操作のいずれかを実行します。
   - グループにユーザーを追加するには、ユーザーを検索し、検索結果のリストでそのユーザーの名前をクリックします。
   - グループからユーザーを削除するには、ユーザーの［アクション］列で ✕ をクリックし、［送信］をクリックします。
5. 追加または削除するユーザーごとに、手順 4 を繰り返します。

共有デバイスグループからのデバイスの削除

共有デバイスグループからデバイスを削除すると、BlackBerry UEM は［仕事用データのみを削除］コマンドをデバイスに送信します。

1. メニューバーで、［専用デバイス］ > ［共有デバイスグループ］をクリックします。
2. 共有デバイスグループを検索します。
3. 検索結果で、共有デバイスグループの名前をクリックします。
4. ［共有デバイス］セクションで、次の操作を実行します。
   a) デバイスの［アクション］列で ✕ をクリックします。
   b) ［仕事用データのみを削除］をクリックします。
5. 削除するデバイスごとに、手順 4 を繰り返します。

共有デバイスグループの削除

作業を始める前に： 共有デバイスグループのすべてのデバイスを削除します。

1. メニューバーで、［専用デバイス］ > ［共有デバイスグループ］をクリックします。
2. 共有デバイスグループを検索します。
3. 検索結果で、共有デバイスグループの名前をクリックします。
4. 🗑 をクリックします。
5. ［削除］をクリックします。

共有デバイスグループへの IT ポリシーまたはプロファイルの割り当て

共有デバイスグループに IT ポリシーまたはプロファイルを割り当てると、ユーザーがグループに対してアクティブ化されたデバイスをチェックアウトするときにそれらが送信され、ユーザーがデバイスにチェックインするときに削除されます。デバイスがチェックインされるときに IT ポリシーまたはプロファイルをデバイスに残す場合は、共有デバイスグループを所有するユーザーアカウントにもそれらを割り当てる必要があります。

作業を始める前に：

- 必要に応じて、IT ポリシーを作成します。
- 必要に応じて、プロファイルを作成します。詳細については、「プロファイルリファレンス」および「プロファイルでの変数の使用」を参照してください。

1. メニューバーで、［専用デバイス］ > ［共有デバイスグループ］をクリックします。
2. 共有デバイスグループを検索します。
3. 検索結果で、共有デバイスグループの名前をクリックします。
4. ［割り当てられた **IT** ポリシーおよびプロファイル］セクションで ＋ をクリックします。
5. ［**IT** ポリシー］またはプロファイルの種類をクリックします。
6. ドロップダウンリストで、グループに割り当てる IT ポリシーまたはプロファイルの名前をクリックします。
7. 次のタスクを実行します。

タスク	手順
IT ポリシーを割り当てる	**a.** IT ポリシーが既にグループに直接割り当てられている場合は、［置換］をクリックします。それ以外の場合は、［割り当て］をクリックします。
ランク付けされたプロファイルタイプを割り当てる	**a.** 手順 5 で選択したプロファイルタイプが既にグループに直接割り当てられている場合は、［置換］をクリックします。それ以外の場合は、［割り当て］をクリックします。
ランク付けされていないプロファイルタイプを割り当てる	**a.** ［割り当て］をクリックします。

共有デバイスグループへのアプリの割り当て

共有デバイスグループにアプリまたはアプリグループを割り当てると、ユーザーがグループに対してアクティブ化されたデバイスをチェックアウトするときにアプリは使用可能になり、ユーザーがデバイスにチェックインするときにアプリは削除されます。デバイスがチェックインされるときにデバイス上でアプリをオンのままにしておく場合、共有デバイスグループを所有するユーザーアカウントにアプリを割り当てる必要もあります。

作業を始める前に：

- 使用可能なアプリリストにアプリを追加します。
- オプションでアプリグループへアプリを追加できます。

1. メニューバーで、［専用デバイス］ **>** ［共有デバイスグループ］をクリックします。
2. 共有デバイスグループを検索します。
3. 検索結果で、共有デバイスグループの名前をクリックします。
4. ［割り当てられたアプリ］セクションで、＋ をクリックします。
5. 検索フィールドに、追加するアプリのアプリ名、ベンダー、または URL を入力します。
6. ユーザーグループに割り当てるアプリまたはアプリグループの横にあるチェックボックスをオンにします。
7. ［次へ］をクリックします。
8. アプリの［種別］ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。
   - アプリのインストールをユーザーに求める場合は、［必須］を選択します。
   - ユーザーにアプリのインストールおよび削除を許可するには、［オプション］を選択します。
9. per-app VPN 設定をアプリまたはアプリグループに割り当てるには、アプリまたはアプリグループの［**Per app VPN**］ドロップダウンリストで、アプリまたはアプリグループに関連付ける設定を選択します。
10. 使用可能なアプリ設定がある場合は、アプリに割り当てるアプリ設定を選択します。
11. ［次へ］をクリックします。
12. アプリにライセンスを割り当てる場合は、［はい］を選択します。ライセンスを割り当てない場合、または、アプリに割り当てるライセンスがない場合には、［いいえ］を選択します。
13. アプリにライセンスが割り当てられている場合には、［アプリライセンス］ドロップダウンリストで、アプリに関連付ける VPP アカウントを選択します。

14. ［ライセンスの割り当て先］ドロップダウンリストで、ライセンスを［ユーザー］または［デバイス］に割り当てます。［アプリライセンス］ドロップダウンリストに値が指定されていない場合、［ライセンスの割り当て先］ドロップダウンリストは使用できません。
15. ［割り当て］をクリックします。

支払い済みのアプリをインストールするには、ユーザーは手順に従ってデバイスで組織の VPP に登録する必要があります。一度はこのタスクを完了する必要があります。

メモ： 使用可能な数より多くのライセンスにアクセスを付与した場合は、使用可能なライセンスにアクセスしている最初のユーザーがアプリをインストールできます。アプリが必須のアプリであり、利用可能なライセンスがない場合、ユーザーがアプリをインストールするか、ユーザーに割り当てられたコンプライアンスルールに従う前に、ライセンスを取得する必要があります。

公開デバイスグループの作成と管理

公開デバイスは、その目的を実行するために特定のアプリケーションセットにロックされた単一目的のデバイスです。この機能は、iOS および Android Enterprise でサポートされています。

公開デバイスグループの作成

1. メニューバーで、［専用デバイス］ > ［公開デバイスグループ］をクリックします。
2. 検索バーの横にある ＋ をクリックします。
3. 公開デバイスグループの名前を入力します。
4. 必要に応じて、公開デバイスグループの説明を入力します。
5. デバイスのアクティベーションのためにユーザー名を入力します。
6. ［保存］をクリックします。

終了したら： UEM Client アプリのロックを有効にするには、公開デバイスグループの情報を編集します。

公開デバイスのアクティベーション

1. メニューバーで、［専用デバイス］ > ［公開デバイスグループ］をクリックします。
2. 公開デバイスグループを検索します。
3. 検索結果で、デバイスをアクティブ化する公開デバイスグループの名前をクリックします。
4. ［デバイスのアクティベーション］をクリックして、サーバーのアドレス、アクティベーションのユーザー名、およびパスワードを表示します。
5. デバイスのアクティベーション情報を使用して、デバイスをアクティブにします。アクティベーションのヘルプについては、「Android デバイスのアクティベーション」または「iOS デバイスのアクティベーション」を参照してください。

終了したら： アクティブ化されたデバイスが［公開デバイス］セクションに表示されていることを確認します。BlackBerry UEM はグループ名を使用してデバイス名を生成し、番号を追加します。例えば、グループ名が Example の場合、アクティブにした最初のデバイスは Example 01 という名前になります。

公開デバイスグループからのデバイスの削除

1. メニューバーで、［専用デバイス］ > ［公開デバイスグループ］をクリックします。
2. 公開デバイスグループを検索します。
3. 検索結果で、デバイスを削除する公開デバイスグループの名前をクリックします。
4. ［公開デバイス］セクションで、デバイスの［アクション］列にある ✕ をクリックします。
5. 削除するデバイスごとに、手順 4 を繰り返します。

公開デバイスグループの削除

作業を始める前に： 公開バイスグループのすべてのデバイスを削除します。

1. メニューバーで、［専用デバイス］ > ［公開デバイスグループ］をクリックします。
2. 公開デバイスグループを検索します。
3. 検索結果で、削除するグループの横にあるチェックボックスをオンにします。
4. 🗑 をクリックします。
5. ［削除］をクリックします。

公開デバイスグループへの IT ポリシーまたはプロファイルの割り当て

作業を始める前に：

- 必要に応じて、IT ポリシーを作成します。
- 必要に応じて、プロファイルを作成します。詳細については、「プロファイルリファレンス」および「プロファイルでの変数の使用」を参照してください。

1. メニューバーで、［専用デバイス］ > ［公開デバイスグループ］をクリックします。
2. 公開デバイスグループを検索します。
3. 検索結果で、IT ポリシーまたはプロファイルを追加する公開デバイスグループの名前をクリックします。
4. ［割り当てられた **IT** ポリシーおよびプロファイル］セクションで ＋ をクリックします。
5. ［**IT** ポリシー］またはプロファイルの種類をクリックします。
6. ドロップダウンリストで、グループに割り当てる IT ポリシーまたはプロファイルの名前をクリックします。
7. 次のタスクを実行します。

タスク	手順
IT ポリシーを割り当てる	IT ポリシーが既にグループに直接割り当てられている場合は、［置換］をクリックします。それ以外の場合は、［割り当て］をクリックします。
ランク付けされたプロファイルを割り当てる	選択したプロファイルタイプが既にグループに直接割り当てられている場合は、［置換］をクリックします。それ以外の場合は、［割り当て］をクリックします。
ランク付けされていないプロファイルを割り当てる	［割り当て］をクリックします。

公開デバイスグループへのアプリの割り当て

作業を始める前に：

- 使用可能なアプリリストにアプリを追加します。
- 必要に応じて、アプリをアプリグループに追加します。

1. メニューバーで、［専用デバイス］ > ［公開デバイスグループ］をクリックします。
2. 公開デバイスグループを検索します。
3. 検索結果で、アプリを割り当てる公開デバイスグループの名前をクリックします。
4. ［割り当てられたアプリ］セクションで、＋をクリックします。
5. 検索フィールドに、追加するアプリのアプリ名、ベンダー、または URL を入力します。
6. グループに割り当てるアプリまたはアプリグループの横にあるチェックボックスをオンにします。
7. ［次へ］をクリックします。
8. アプリの［種別］ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。
   - アプリのインストールをユーザーに求める場合は、［必須］を選択します。
   - ユーザーにアプリのインストールおよび削除を許可するには、［オプション］を選択します。
   - ユーザーがアプリをインストールできないようにするには、［拒否］を選択します。

BlackBerry UEM Self-Service のユーザーロールの管理

ユーザーロールを使用して、BlackBerry UEM Self-Service でユーザーが使用できる機能を指定できます。

BlackBerry UEM には、事前設定されたデフォルトのユーザーロールが 1 つ含まれています。デフォルトのユーザーロールは、すべての BlackBerry UEM Self-Service 機能を許可するように設定されていて、［すべてのユーザー］グループに割り当てられています。

メモ：［すべてのユーザー］グループからデフォルトのユーザーロールの名前変更、削除、または除去を行うと、iOS デバイス上の［仕事用アプリ］で問題が発生する可能性があります。

ユーザーの特定の BlackBerry UEM Self-Service 機能を制限する場合は、新しいユーザーロールを作成するか、既存のユーザーロールを編集します。ユーザーロールは、グループまたは直接ユーザーに割り当てることができます。

1 人のユーザーには 1 つのロールのみが割り当てられます。ユーザーアカウントに直接割り当てられたロールは、ユーザーグループによって間接的に割り当てられたロールより優先されます。ユーザーが、異なるユーザーロールを持つ複数のユーザーグループのメンバーになっている場合、BlackBerry UEM はランキングが最も高いロールを割り当てます。

BlackBerry UEM Self-Service 機能

次の表に、BlackBerry UEM Self-Service の機能を示します。

機能	説明
アクティベーションパスワードを指定	この機能を使用すると、ユーザーは BlackBerry UEM でデバイスをアクティブにするために使用できるアクティベーションパスワードを作成できます。［設定］ > ［セルフサービス］ > ［セルフサービスの設定］をクリックして、デフォルトのパスワードの有効期間を設定したり、必須のパスワードの複雑さを設定したりできます。
アクセスキーを指定	この機能を使用すると、ユーザーは BlackBerry Dynamics アプリのアクティブ化に使用できるアクセスキーを作成できます。
仕事用データのみを削除	この機能を使用すると、ユーザーは［仕事用データのみを削除］コマンドをデバイスに送信できます。このコマンドは、IT ポリシー、プロファイル、アプリ、証明書などの仕事用データを削除します。
すべてのデバイスデータを削除	この機能を使用すると、ユーザーは［すべてのデバイスデータを削除］コマンドをデバイスに送信できます。このコマンドは、仕事用領域内の情報を含め、デバイスに保存されているユーザー情報とアプリデータをすべて削除します。デバイスを工場出荷時のデフォルト設定に戻し、BlackBerry UEM からデバイスを削除します。
デバイスを検索	この機能を使用すると、ユーザーは iOS、Android、または Windows 10 Mobile デバイスの場所を地図上に表示できます。この機能を使用するには、位置情報サービスプロファイルがユーザーに割り当てられている必要があります。詳細については、「位置情報サービスプロファイルの作成」を参照してください。

機能	説明
ユーザー証明書の管理	この機能を使用すると、ユーザーはデバイスにユーザーの証明書をアップロードできます。必要な証明書に関して、およびどこから証明書をアップロードするのかに関して、ユーザーに情報や手順を提供できます。
BlackBerry Dynamics アプリのロックとロック解除	BlackBerry Dynamics 用にユーザーのデバイスが有効になっている場合、この機能を使用すると、ユーザーはデバイスにインストールされている BlackBerry Dynamics アプリをロックしたり、ロック解除キーを生成してアプリをロック解除したりできます。ユーザーがアプリをロックすると、だれもアプリを起動できなくなります。
BlackBerry Dynamics のアプリデータの削除	BlackBerry Dynamics 用にユーザーのデバイスが有効になっている場合、この機能を使用すると、ユーザーは、デバイスにインストールされている BlackBerry Dynamics アプリからすべてのデータを削除できます。このコマンドは、アプリで保存されたすべてのデータを削除しますが、アプリ自体は削除しません。

ユーザーロールの作成

カスタムのユーザーロールを作成して、ユーザーまたはグループに割り当てることで、ユーザーが BlackBerry UEM Self-Service で使用できる機能を指定できます。

1. メニューバーで［設定］ > ［セルフサービス］をクリックします。
2. ［ユーザーロール］をクリックします。
3. をクリックします。
4. ユーザーロールの名前と説明を入力します。
5. 別のロールから権限をコピーするには、［ロールからコピーする権限］ドロップダウンリストでロールをクリックします。
6. ユーザーに提供する機能を選択します。
7. ［保存］をクリックします。

終了したら： ユーザーロールのランク付け

ユーザーロールのランク付け

ユーザーが、異なるロールを持つ複数のユーザーグループのメンバーである場合、ランキングを使用して、BlackBerry UEM がユーザーに割り当てるロールを決定することができます。

1. メニューバーで［設定］ > ［セルフサービス］をクリックします。
2. ［ユーザーロール］をクリックします。
3. 矢印を使用して、ロールを上下に移動してランク付けします。
4. ［保存］をクリックします。

ユーザーへのユーザーロールの割り当て

ユーザーロールは、BlackBerry UEM Self-Service でユーザーに使用できる機能を指定します。

作業を始める前に： ユーザーロールの作成.

1. メニューバーで［ユーザー］をクリックします。
2. ［すべてのユーザー］または［管理されているデバイス］タブを選択します。
3. ユーザーアカウントを検索します。
4. 検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。
5. ✎ をクリックします。
6. ［直接ロール割り当て］ドロップダウンリストで、割り当てるロールを選択します。［なし］を選択した場合、ユーザーのロールはグループによって割り当てられます。グループ割り当てがない場合、ユーザーは BlackBerry UEM Self-Service にアクセスできません。
7. ［保存］をクリックします。

グループへのユーザーロールの割り当て

ユーザーロールは、BlackBerry UEM Self-Service でユーザーに使用できる機能を指定します。

作業を始める前に： ユーザーロールの作成.

1. メニューバーで［グループ］をクリックします。
2. ユーザーグループを検索します。
3. 検索結果で、ユーザーグループの名前をクリックします。
4. ［管理されているデバイス］タブをクリックします。
5. ［ユーザーロール］セクションで、＋ をクリックします。
6. ドロップダウンリストで、グループに割り当てるロールの名前をクリックします。
7. ［追加］または［置換］をクリックします。

ユーザーリストの表示およびカスタマイズ

ユーザーリストはそのまま表示できます。また、デフォルトビューまたは詳細ビューを設定して、ユーザーリストに表示する情報を選択することで、ユーザーリストをカスタマイズできます。ユーザーリストでは、列を選択して並べ替えることができます。

フィルターを使用すると、タスクに関連する情報のみを表示できます。一度に 1 つのフィルターを選択してユーザーリストをフィルターするか、または複数のフィルターを選択してフィルターすることができます。デフォルトビューでは、OS、通信事業者、グループ、割り当てられた IT ポリシー、所有権、コンプライアンス違反で、ユーザーリストをフィルターできます。詳細ビューでは、より多くのカテゴリを使用できます。たとえば、機種、OS バージョン、アクティベーションタイプでユーザーリストをフィルターできます。

さらに分析し、レポートする目的で、ユーザーリストを .csv ファイルにエクスポートできます。

デフォルトビューまたは詳細ビューの設定

BlackBerry UEM でユーザーリストを表示するためにブラウザーが利用するビューを設定できます。詳細ビューでは、より多くの列とフィルターカテゴリを使用できます。

メモ： 大規模な環境では、詳細ビューはデフォルトビューよりも時間がかかることがあります。

1. メニューバーで、［ユーザー］ > ［管理されているデバイス］をクリックします。
2. 右上にある［デフォルト］または［詳細］をクリックします。

終了したら： ユーザーリストに表示する情報の選択.

ユーザーリストに表示する情報の選択

作業を始める前に： デフォルトビューまたは詳細ビューの設定.

1. メニューバーで、［ユーザー］ > ［管理されているデバイス］をクリックします。
2. ユーザーリストの一番上で ＋ をクリックして、次のいずれかの操作を実行します。
   - ［すべて選択］をクリックするか、または表示する列ごとにチェックボックスをオンにします。
   - 削除する各列のチェックボックスをオフにします。
   - デフォルトの選択に戻すには、［リセット］をクリックします。
3. ユーザーリストを並べ替えるには、列見出しをクリックします。
4. 列の順番を変更するには、列見出しをクリックして左または右にドラッグします。

ユーザーリストのフィルター

複数選択を有効にすると、複数のフィルターを選択してからそれらを適用でき、各カテゴリで複数のフィルターを選択できます。複数選択をオフにすると、各フィルターは選択時に適用され、各カテゴリで選択できるフィルターは 1 つのみになります。

作業を始める前に： デフォルトビューまたは詳細ビューの設定.

1. メニューバーで［ユーザー］をクリックします。

2. をクリックして、複数選択の有効または無効を切り替えます。
3. ［フィルター］の下で 1 つ以上のカテゴリを展開します。

   各カテゴリには、結果が表示されるフィルターのみが含まれ、各フィルターは適用時に表示される結果の件数を示します。
4. 次の操作のいずれかを実行します。
   - 複数選択を有効にした場合は、適用するフィルターごとにチェックボックスをオンにして［送信］をクリックします。
   - 複数選択を無効にした場合は、適用するフィルターをクリックします。
5. 右ペインで、必要に応じて［すべて削除］をクリックするか、削除する各フィルターの ✕ をクリックします。

ユーザーリストの並べ替え

列見出しに表示されたカテゴリのいずれかで、ユーザーリストをアルファベット順に並べ替えられます。

作業を始める前に： デフォルトビューまたは詳細ビューの設定。

1. メニューバーで［ユーザー］をクリックし、表示するタブを選択します。
2. 必要に応じて、ユーザーリストをフィルターします。
3. 列見出しをクリックします。列見出しをもう一度クリックすると、逆の順序で並べ替えます。

ユーザーリストの .csv ファイルへのエクスポート

ユーザーリストを .csv ファイルにエクスポートすると、このファイルには、現在のビューで利用可能な列がすべて含まれます。

作業を始める前に： デフォルトビューまたは詳細ビューの設定.

1. メニューバーで、［ユーザー］ > ［管理されているデバイス］をクリックします。
2. 必要に応じて、ユーザーリストをフィルターします。
3. 次の操作のいずれかを実行します。
   - ユーザーリストの一番上にあるチェックボックスをオンにして、すべてのユーザーを選択します。
   - ファイルに含めるユーザーごとにチェックボックスをオンにします。複数のユーザーを選択するには、Shift キーを押しながらクリックします。
4. をクリックして、ファイルを保存します。

デバイスの所有権ラベルの変更

BlackBerry UEM でアクティベーションされた各デバイスにはラベルがあります。そのデバイスの所有者が組織なのかユーザーなのか、またはその指定がないのかがわかります。このラベルのデフォルト値は、アクティベーションプロファイルのデバイス所有権設定から取得されます。所有権ラベルはいつでも編集することができます。この設定を、複数のデバイスで一度に変更するには、「一括コマンドの送信」を参照してください。

デバイスの所有権ラベルは、ユーザーリストをデバイス所有権設定でフィルタリングする場合に便利です。詳細については、「ユーザーリストのフィルター」を参照してください。

1. メニューバーで、［ユーザー］ > ［管理されているデバイス］をクリックします。
2. ユーザーアカウントを検索します。
3. 検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。
4. デバイスのタブをクリックします。
5. ［アクティブ化されたデバイス］セクションで、所有権設定の横にある［編集］をクリックします。
6. ドロップダウンリストで、次のオプションのいずれかを選択します。
   - 仕事用
   - 個人
   - 指定なし
7. ［保存］をクリックします。

商標などに関する情報

©2020 BlackBerry Limited. BLACKBERRY、BBM、BES、EMBLEM Design、ATHOC、CYLANCE、SECUSMART などの商標（ただし、これらに限定されるとは限らない）は BlackBerry Limited、その子会社および関連会社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づいて使用され、当該の商標に対する独占権は明確に留保されています。その他すべての商標は各社の所有物です。

本書は、参照用として本書で取り上げるすべての文書（提供される文書または BlackBerry の Web サイトで参照可能な文書）を含めて「現状のまま」または「参照可能な形で」提供されるか、またはアクセスすることができ、BlackBerry Limited およびその関連会社（「BlackBerry」）はいかなる条件付け、承認、表明、または保証もしないものとし、BlackBerry は本書の誤記、技術的な誤りまたはその他の誤り、エラー、遺漏について何ら責任を負いません。BlackBerry の所有権、機密情報および/または企業秘密を保護するため、本書では一部の BlackBerry テクノロジの側面を一般化された用語で記述している場合があります。BlackBerry は、本書に含まれる情報を定期的に変更する権利を留保します。ただし、BlackBerry には、本書への変更、更新、拡張、または他の追加を適時ユーザーに提供する義務はないものとします。

本書は、第三者をソースとする情報、ハードウェアまたはソフトウェア、製品またはサービス（コンポーネントや、著作権保護されたコンテンツなど）、および/または第三者の Web サイト（これらをまとめて「サードパーティ製品およびサービス」という）への参照を含んでいる可能性があります。BlackBerry は、サードパーティ製品およびサービスの内容、正確性、著作権遵守、互換性、性能、信頼性、適法性、品格、リンク、他の側面などに限定することなく、サードパーティ製品およびサービスを一切管理することはなく、責任も負いません。本書においてサードパーティ製品およびサービスを参照することは、BlackBerry がサードパーティ製品およびサービスまたは第三者を保証することを意味するものではありません。

該当する司法管轄地域の適用法で明確に禁じられている場合を除き、本書で参照されているソフトウェア、ハードウェア、サービス、またはサードパーティ製品およびサービスについて、耐久性、特定の目的または使用に対する適合、商品性、適性品質、権利侵害の不存在、品質満足度、権原、または制定法、慣習法、取引過程、商慣習から生じる、本書またはその使用に関する、または性能または性能の不履行に関する条件付け、承認、表明、保証などに限定することなく、明示的または黙示的に、いかなる条件付け、承認、表明、または保証も除外されます。ユーザーは、国や地域によって異なる他の権利を有する場合もあります。一部の司法管轄地域では、黙示的な保証および条件の除外事項または限定事項は禁止されています。法律で認められている範囲で、本書に関連する黙示的な保証または条件は、上記に定めるように除外できないが限定できる場合、ユーザーが本書または該当する対象物を初めて入手してから 90 日間に限定されます。

該当する司法管轄地域の適用法で認められている最大限の範囲で、本書またはその使用に関連して、または本書で参照されているソフトウェア、ハードウェア、サービス、またはサードパーティ製品およびサービスの性能または性能の不履行に関連して、直接的、必然的、典型的、偶発的、間接的、特殊的、懲罰的、または加重的損害、金銭的損失による損害（利益または収益の損失、予想される貯蓄の未達成、事業の中断、ビジネス情報の消失、ビジネス機会の喪失、データの破損または消失、データの送受信の失敗、BlackBerry 製品またはサービスと併用したアプリケーションに関連する問題、ダウンタイムコスト、BlackBerry 製品またはサービスあるいはその一部の使用機会や通信サービスの使用機会の喪失、代替品コスト、保険料、設備費、保守費、資本コストなど）に限定することなく、損害を予想できたかどうかを問わず、BlackBerry が損害の可能性について勧告を受けていた場合を含め、いかなる場合においても、BlackBerry はいかなる損害の責任も負わないものとします。

該当する司法管轄地域の適用法で認められている最大限の範囲で、契約、不法行為、またはユーザーに対する過失責任または厳格責任について、BlackBerry は他のいかなる義務、責務、または責任も負わないものとします。

本書の限定事項、除外事項、および免責事項は、（A）訴訟原因、請求、またはユーザーによる行為（契約違反、過失、不法行為、厳格責任、その他の法理論など）の性質に関係なく、この契約の基本目的または本書に記載されている救済策の根本的違反または不履行を免れるため、（B）BlackBerry およびその関連会社、その後継

者、譲受人、代理業者、納入業者（通信事業者を含む）、認可された BlackBerry 販売業者（通信事業者を含む）およびその取締役、従業員、および請負業者に適用されます。

上記に定める限定事項および除外事項に加えて、いかなる場合においても、BlackBerry の取締役、従業員、代理業者、販売業者、納入業者、請負業者または BlackBerry の関連会社は、本書に起因または関連する責任を負わないものとします。

ユーザーは、サードパーティ製品およびサービスの加入、インストール、または使用前に、通信事業者がサードパーティ製品およびサービスのすべての機能をサポートすることに同意していることを確認する責任を負います。一部の通信事業者は、BlackBerry® Internet Service への加入によるインターネット閲覧機能を提供しない場合があります。サービスの利用、ローミング、サービスプラン、その他の機能については、通信事業者に問い合わせてください。BlackBerry 製品およびサービスにおけるサードパーティ製品およびサービスのインストールまたは使用には、第三者の権利を侵害または妨害しないように、特許、商標、著作権、または他のライセンスが必要になる場合があります。ユーザーは、サードパーティ製品およびサービスを使用するかどうかを決定し、使用するためにサードパーティライセンスが必要かどうかを確認する責任を負います。必要な場合、ユーザーはライセンスを取得する責任を負います。ユーザーは、必要なライセンスをすべて取得するまで、サードパーティ製品およびサービスをインストールまたは使用してはなりません。BlackBerry 製品およびサービスで提供されるサードパーティ製品およびサービスは、ユーザーの便宜のために「現状のまま」提供され、BlackBerry は明示的にも黙示的にもいかなる条件付け、承認、表明、または保証もしないものとし、BlackBerry はそれに関連するいかなる責任も負わないものとします。ユーザーによるサードパーティ製品およびサービスの使用は、ライセンスまたは BlackBerry との他の契約で明示的に対象になっている場合を除き、個別のライセンスおよび第三者との他の該当契約の条件に従うものとし、その制約を受けるものとします。

BlackBerry 製品またはサービスの使用条件は、個別のライセンスまたは BlackBerry との他の該当契約に定められています。本書の内容は、本書以外に BlackBerry 製品またはサービスの一部に対して BlackBerry が提供した文書による明示的な契約または保証を破棄するものではありません。

BlackBerry Enterprise Software には、特定のサードパーティ製ソフトウェアが組み込まれています。このソフトウェアに関連するライセンスおよび著作権情報は、http://worldwide.blackberry.com/legal/thirdpartysoftware.jsp でご確認いただけます。

BlackBerry Limited
2200 University Avenue East
Waterloo, Ontario
Canada N2K 0A7

BlackBerry UK Limited
Ground Floor, The Pearce Building, West Street,
Maidenhead, Berkshire SL6 1RL
United Kingdom

Published in Canada